

高福第 2107 号
令和元年 6 月 27 日

各高齢者施設・事業所 管理者様

神奈川県福祉子どもみらい局福祉部
介護サービス担当課長
(公印省略)

防災情報を 5 段階の「警戒レベル」で提供することについて（通知）

本県の高齢福祉行政について、日頃からご協力いただき、厚くお礼申し上げます。

さて、各施設・事業所においては、災害時における避難開始の時期・判断基準として、非常災害対策計画上で「避難準備」情報の発令を目安としていると存じます。

本年 3 月 29 日に「避難勧告等に関するガイドライン」（内閣府（防災担当）策定）が改定され（※）、避難情報の発令について、改定前には「避難指示」、「避難勧告」及び「避難準備」といった、解釈が多様な表現で示されていましたが、改定後には以下の 5 段階の警戒レベルによりとるべき避難行動が具体的に示されることになりました。

＜各警戒レベルと対応する避難行動等＞

- ・警戒レベル 1（気象庁が発表）・・・避難の心構えを高める
- ・警戒レベル 2（気象庁が発表）・・・避難行動を確認する
- ・警戒レベル 3（市町村が発令）・・・高齢者等避難開始
- ・警戒レベル 4（市町村が発令）・・・全員避難開始
- ・警戒レベル 5（市町村が発令）・・・災害発生中、命を守る最善の行動をとる。

※「避難勧告等に関するガイドラインの改定（平成 31 年 3 月 29 日）」

http://www.bousai.go.jp/oukyu/hinankankoku/h30_hinankankoku_guideline/index.html

各施設・事業者においては、「避難勧告等に関するガイドライン」の改定により、これまでの「避難準備・高齢者等避難開始」という表記が「警戒レベル 3」（高齢者等避難開始）へと変更されて伝達されることについて把握していただくとともに、「警戒レベル」の運用開始に際して次頁の確認及び対応をお願いします。

＜確認事項＞

◇避難開始の時期・判断基準の確認

各施設・事業所において設定している避難開始の時期・判断基準について、利用者の状態、職員数及び設備等の施設の状況（日中と夜間では対応できる職員数が違う点等にも留意）を踏まえて算出した避難にかかる時間に照らし、適切かどうか再確認してください。

＜対応事項＞

◇非常災害対策計画の文言修正

非常災害対策計画において、現状「避難準備」情報の発令等を避難開始の時期・判断基準とする旨の記載になっていると存じますが、「警戒レベル」に対応させた文言になるよう適宜修正をお願いします。

【参考資料】

・介護保険施設等における利用者の安全確保及び非常災害時の体制整備の強化・徹底について（平成 28 年 9 月 9 日老総発 0909 第 1 号、老高発 0909 第 1 号、老振発 0909 第 1 号、老老発 0909 第 1 号 厚生労働省老健局総務課長他通知）

問合せ先

高齢福祉課保健・居住施設グループ 岡崎

電話 045 - 210 - 4856